

峰山蓮華寺略縁起

兵庫縣城崎郡竹野町轟

峰山 蓮華寺

當山は聖觀世音菩薩を本尊として竹野町轟に位置し、八方を山に囲まれ其の形自ら蓮の花に似たるより八葉の峰山略して単に「峰山」と稱す。

今より千三百年の昔、奈良時代の開創にして、四明光賀律師中興の祖となり堂塔を整え更に鎌倉時代に至りて東密教学大成の碩学杲宝僧正ゴボウ京都東寺より来り七堂伽藍、塔頭寺院八坊を整備し山外十料余の南、門谷地区に仁王門を建立して奥竹野より、西は香住町佐津谷、三川に至り、東は江野、伊賀谷に亘りて数十余の門末坊舎を配し、輪奐の美整いて「但馬高野」と稱せられ、広大なる氣宇の基に真言の教法を宣布して地方文化の中心となりたり。

亦中興の祖杲宝僧正が但馬丹波に及ぼしたる影響は注目すべきもの有り、都の文化を導入し地域住民に与えたる教化の実績は当時の実態を勘案し文化の交流、行政との関連殊に残存せる習俗、言語、年中行事、民族芸能、寺小屋教育等を究明すれば察知出来得るも、只再三の災厄殊に江戸期山焼に依る類焼は全山を烏有に帰し、漸く後西天皇、宝鏡寺宮の外護を得て今日に至るも京都より移入せられたる膨大な文化遺産は悉く消滅し室町期より門末は他に転じ一寺院の形骸をとどむるに至る。

當山伝承の二、三の佛画、太鼓踊り（室町以前の形式を残すと言う）、鎮守社に残存する大神樂、行列次第、桑野本に残る行道面の伝承等好個の資料なり。

一、山内塔頭

奥之坊（本坊）現遍照院、松尾坊、泉隨坊、大聖院、大門坊、中尾坊、藤本坊、宝積院（事務所）

二、比較的近世迄存続し痕跡の残る末寺

林村 延命山常樂寺（住職の隠居所）
小丸村 千通山高蓮寺
下塚村 円久山長法寺
小城村 発起山王伝寺
河内村 朝野山施薬寺

三、当時の山内堂塔

本堂、奥之院、弁天堂、不動堂、毘沙門堂、愛染堂、行者堂、鎮守社殿、全拜殿、庚申堂、開山堂、前記塔頭八坊

以上